ゆかた着装を含むきもの文化学習のプログラム開発

生活・技術系教育講座　2年　大矢幸江

合同ゼミナール 2016

1．研究の背景

2006年 教育基本法改正
伝統文化の継承と尊重

学習指導要領の改訂 技術・家庭科
和服の基本的着装を扱うこともできる

- **伝統的な衣生活文化に関わる教育内容の検討**
- **「衣服と社会生活のかかわり」の理解**

2．研究の目的

ゆかたの着装によりきもの文化への興味関心が高まる

- 第1の目的
  3つのテーマで授業提案、教材開発をする
  - **①きもの文化と環境配慮衣生活**
  - **②和服の平面構成**
  - **③和服の温熱的快適性**
- 第2の目的
  開発した教材を用いて授業実践を行い、授業の有効性を検討する。

3．これまでの研究内容と成果

①きもの文化への興味関心 → 環境配慮衣生活

共通する「**もったいない精神**」が学習効果を向上させるか

昔の日本の衣生活 “7回生まれ変わる着物”

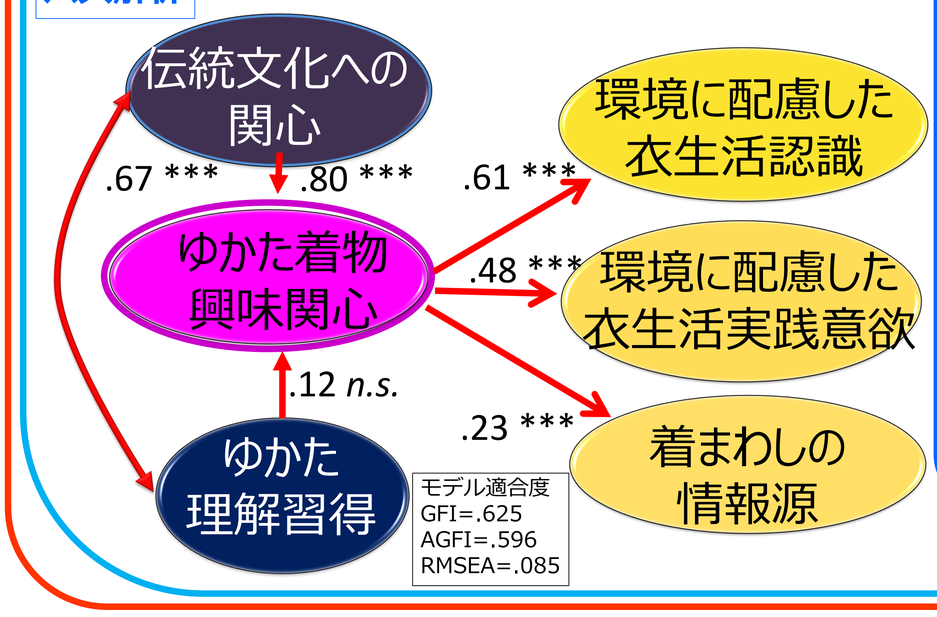
現代の日本の衣生活
大量生産・消費

衣類のリサイクル率 10%！！

- 制服の一生すごろくを通して学ぶ

  生産段階で多くのCO_2排出する
  衣服を大切に着る
  リサイクルする
- 自分の衣生活について考えさせる

パス解析



②和服の平面構成　ミニチュアゆかた製作動画教材

「**ミニチュアゆかた製作**」
- 手軽にきもの文化の学習が出来る
- 平面構成が学べる、短い製作時間で出来る
- ペットボトルに着せ付ける、たたみ方がわかる

「**動画教材**」
- 教員一人でも指導が出来る
- 見たい場所に戻って何度でも見られる

③和服の温熱的快適性　実験により熱水分移動性を確かめる

ゆかたは涼しくない！

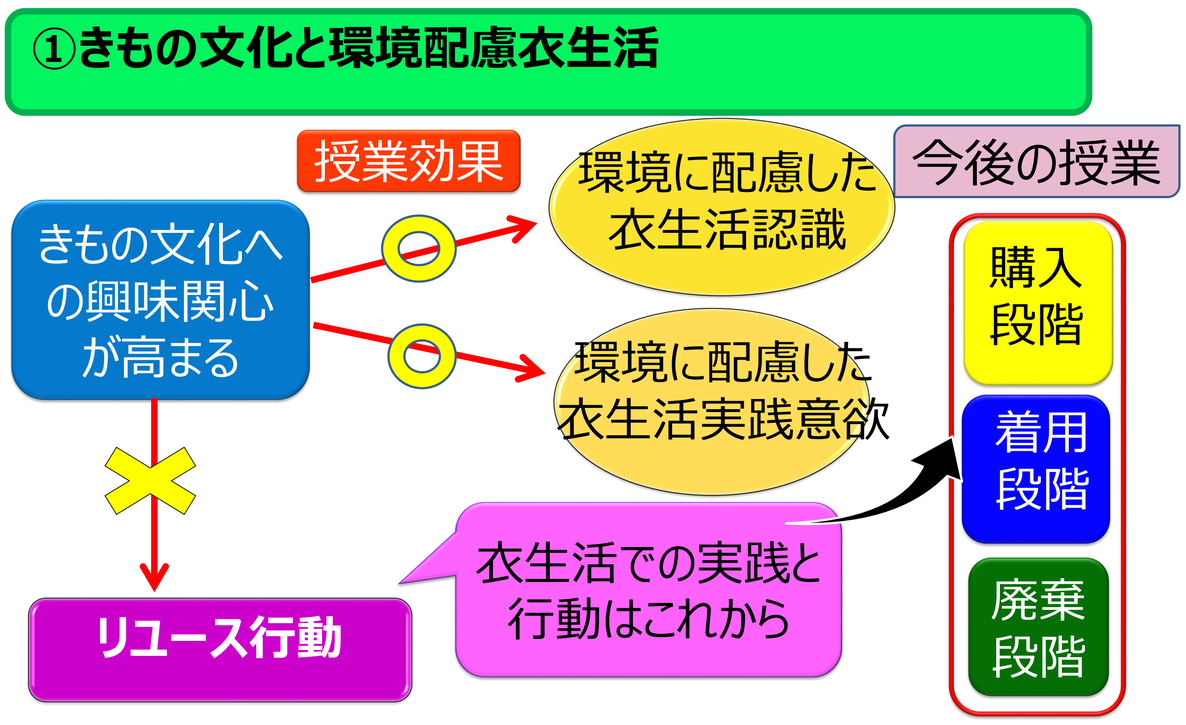
夏季のゆかた着装授業　生徒の声

予備実験より：帯周りが蒸れて高温になりやすいことが明らかになった！

高温多湿の人工気候室でゆかたの帯下に試作メッシュベルトを装着し、歩行実験を実施し、涼感が向上する条件を模索

4．現在取り組んでいる研究課題と研究方法

①きもの文化と環境配慮衣生活



②和服の平面構成　ミニチュアゆかた製作動画教材

- ミニチュアゆかた製作工程の動画の撮影が終了した編集作業を進めている。
- 型紙から裁断と反物から裁つ方法の2パターンを用意する

③和服の温熱的快適性

- メッシュベルトに改良を加え涼しくする工夫を提案する。
- 和服の形を守る前提の快適性向上の改良に固執せず、ベストといえない今の和服のデザインの改良を視野に入れると何が提案出来るか、問題提起し生徒に考えさせる。

順次授業実践を行い、教員へのインタビューを行う